令和５年

全国
一級河川の水質現況

Recent conditions of water quality of class A rivers in Japan

2023

令和５年水質調査結果

感覚的な水質指標による調査

水質事故等の状況

特集

良好な水質を活かした地域づくり

仁淀川（によどがわ）

「清流」から生まれた名産品

川内川（せんだいがわ）［九州地方］

水質改善と観光振興

矢作川（やはぎがわ）［中部地方］

水質だより

小矢部川（おやべがわ）［北陸地方］

MLIT Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

表紙写真「にこ淵」【写真提供：仁淀ブルー観光協議会】

国土交通省

水管理・国土保全局

令和５年全国一級河川の水質現況

CONTENTS

DATA

科学的調査

令和５年水質調査結果

03 DATA 水質が最も良好な河川 2023
04 DATA 水質が最も良好な河川 2014-2023
05 DATA 過去 10 年間の水質改善状況
06 DATA 環境基準（BOD 等）の満足状況

感覚的調査

感覚的な水質指標による調査

08 男鹿川の水生生物調査
09 湧別川「川の環境学習会」
10 沿川学校との丹生川の水質調査

水質事故調査

水質事故等の状況

11 DATA 水質事故等の状況

特集

13 良好な水質を活かした地域づくり 仁淀川（によどがわ）

Column

15 「清流から生まれた名産品」 ［九州地方］ 川内川（せんだいがわ）

16 「水質改善と環境振興」 ［中部地方］ 矢作川（やはぎがわ）

17 「水質だより」 ［北陸地方］ 小矢部川（おやべがわ）

ライジャケ・オン！

18 水難事故防止

科学的調査

令和５年水質調査結果

公害問題が顕在化してきた昭和 40 年代以降、水質汚濁が進み、「汚い、臭い、遊べない」といわれる河川が全国に多くありました。国土交通省が河川の水質について、年単位（1 月～ 12 月）でのとりまとめを始めた昭和 46 年当時、BOD 平均値が 5.0mg/ ℓを超え、水質改善が急務であった地点は、一級河川の全調査地点の 27%を占めていました。

しかし、このような一級河川の水質も、これまでの排水規制、下水道整備、河川浄化事業等の推進により徐々に良くなっています。例えば、昭和 40 年代の多摩川は水質悪化が進み、洗剤の泡が浮く汚れた河川でした。昭和 50 年代後半には、アユの遡上が確認されるまでに水質が良くなり、近年では、大量のアユが毎年遡上するまでになっています。また、綾瀬川や大和川は、昭和 40 年代の都市化の進展に伴う水質汚濁が著しく、BOD 値が 30mg/ ℓを超えていましたが、水質改善の取組みにより確実に良くなりました。特に大和川では、令和 5 年の代表地点の BOD75% 値が 1.6mg/ ℓとなり、アユの遡上も確認されるようになっています。

こうした水質改善の背景には、排水規制や下水道整備のみならず、各地域や家庭での生活排水の汚れを減らす取組みや、流域でのクリーン活動等の啓発活動といった、流域の人々の様々な活動があります。これからも水質を維持・改善していくためには、このような各地域における努力を持続・発展させることが重要です。

水質が最も良好な河川 2023

令和 5 年の平均的な水質（BOD 値）が最も良好な河川は以下のとおりです。

BOD 値による河川の水質状況（水質が最も良好な河川）

地方名	河川名			調査地点の都道府県名
北海道	後志利別川	シリベシトシベツガワ	後志利別川水系	北海道
北海道	札内川	サツナイガワ	十勝川水系	北海道
東北	荒川	アラカワ	阿武隈川水系	福島県
中部	安倍川	アベカワ	安倍川水系	静岡県
中部	宮川	ミヤガワ	宮川水系	三重県
近畿	熊野川	クマノガワ	新宮川水系	和歌山県
近畿	北川	キタガワ	北川水系	福井県
近畿	由良川	ユラガワ	由良川水系	京都府
中国	天神川	テンジンガワ	天神川水系	鳥取県
中国	小鴨川	オガモガワ	天神川水系	鳥取県
中国	高津川	タカツガワ	高津川水系	島根県
四国	吉野川	ヨシノガワ	吉野川水系	徳島県
四国	肱川	ヒジカワ	肱川水系	愛媛県
四国	四万十川	シマントガワ	渡川水系	高知県
九州	川辺川	カワベガワ	球磨川水系	熊本県
九州	五ヶ瀬川	ゴカセガワ	五ヶ瀬川水系	宮崎県
九州	小丸川	オマルガワ	小丸川水系	宮崎県

【「水質が最も良好な河川」の定義】

対象河川である 160 河川のうち、以下の両方を満たす河川。

- 対象河川の各調査地点の BOD 年間平均値について、全調査地点で平均をとった値が 0.5mg/ℓ※1
- 対象河川の各調査地点の BOD75% 値※2 について、全調査地点で平均をとった値が 0.5mg/ℓ

※1：環境省の定める BOD の報告下限値（0.5 mg/ℓ）
※2：測定データを値が小さい（水質が良好）方から並べ、0.75 ×データ数番目（整数ではない場合は切り上げ）の値（例えば、BOD を毎月 1 回測定していた場合、水質の良い方（値の小さい方）から数えて 0.75 × 12 ＝ 9 番目の値が 75% 値となります。）

＜対象河川＞
- 一級河川（本川）：直轄管理区間に調査地点が 2 以上ある河川
- 一級河川（支川）：直轄管理区間延長が概ね 10km 以上、かつ直轄管理区間に調査地点が 2 以上ある河川

※湖沼類型指定、海域類型指定の調査地点及びダム貯水池は含まない。

科学的調査

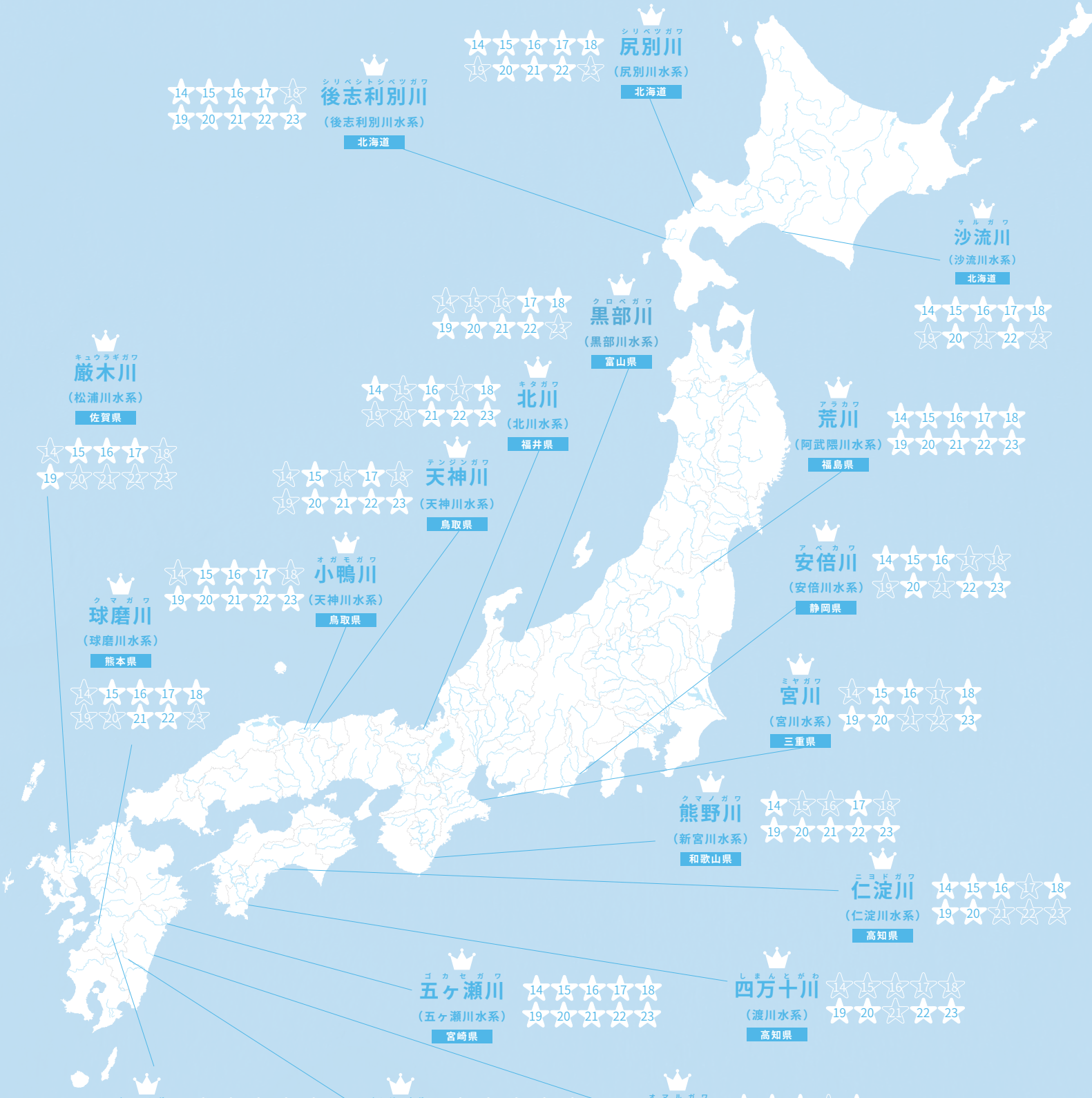
水質が最も良好な河川
2014 - 2023

平成 26- 令和 5 年水質調査結果

2014-2023 年（平成 26- 令和 5 年）の 10 年で、
4 回以上「水質が最も良好な河川」となった河川（19 河川）を紹介します

星印：「水質が最も良好な河川」となった年
（西暦下 2 桁）

14 15 16 17 18
19 20 21 22 23



科学的調査

TOP 5

過去 10 年間の水質改善状況

過去 10 年間に BOD 値が大幅に改善されている地点は以下のとおりです。

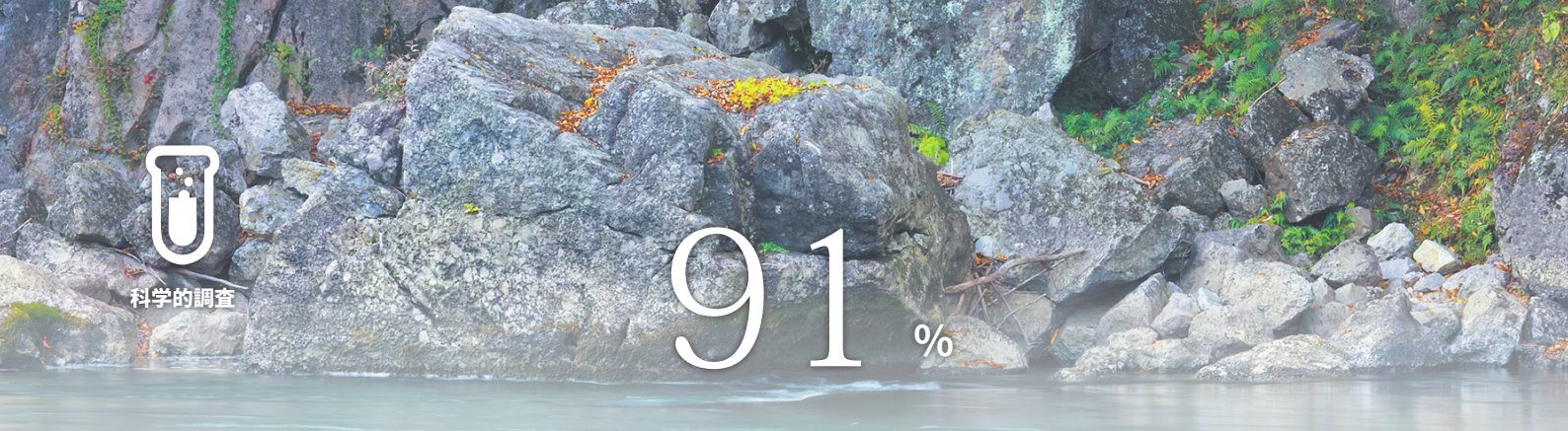
BOD 平均値の改善幅による過去 10 年間の水質改善状況

順位	地方名／地点名（水系名河川名）		平成 25 年 BOD 年間平均値（mg/ℓ）	令和 5 年 BOD 年間平均値（mg/ℓ）	水質改善幅（mg/ℓ）
1	近畿／利倉（トクラ）	（淀川（ヨドガワ）水系猪名川（イナガワ））	7.8	2.4	5.4
2	関東／運河（ウンガ）（合流前（ゴウリュウマエ））	（利根川（トネガワ）水系利根運河（トネウンガ））	9.3	6.2	3.1
3	近畿／市田川河口（イチダガワカコウ）	（新宮川（シングウガワ）水系市田川（イチダガワ））	4.5	1.4	3.1
4	関東／笹目橋（ササメバシ）	（荒川（アラカワ）水系荒川（アラカワ））	6.6	3.6	3.0
5	近畿／小柳橋（コヤナギバシ）	（大和川（ヤマトガワ）水系曽我川（ソガガワ））	3.4	1.0	2.4

令和 5 年の地点毎の年間の平均的な水質（BOD 値）と、平成 25 年の地点毎の年間の平均的な水質（BOD 値）から、10 年間の直轄管理区間の水質改善幅による地点の水質改善状況を比較すると、上記上位 5 地点で大幅な水質改善が進んでいます。

また、上記上位 5 地点以外にも、様々な取組み等により、全国的にきれいな川、生物が生息しやすい川などをめざして水質や水環境の改善が多面的に取り組まれています。

こうした水質を改善する取組みを地域づくりや観光振興とあわせて実施している河川として、矢作川（中部地方）（P.16）や小矢部川（北陸地方）（P.17）の事例を掲載しています。



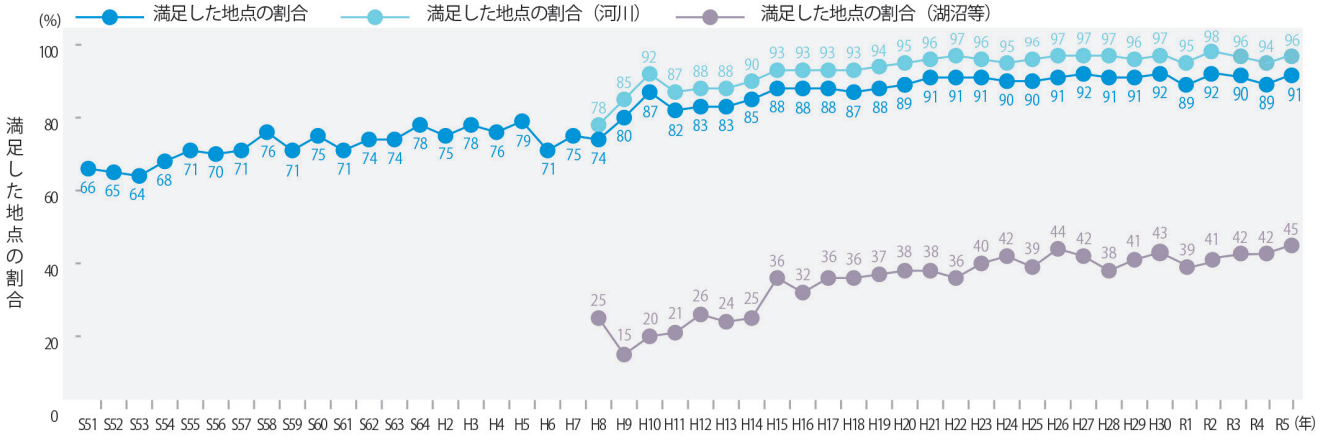
科学的調査

91%

環境基準（BOD 等）の満足状況

BOD※1（または COD※2）値が環境基準を満足した地点の割合は 91%でした。

【生活環境の保全に関する環境基準】



一級河川（湖沼及び海域を含む）において環境基準を満足した地点の割合

令和 5 年に、一級河川（湖沼及び海域を含む。）の直轄管理区間において、生活環境の保全に関する環境基準項目のうち、BOD（生物化学的酸素要求量）または、COD（化学的酸素要求量）の環境基準を満足した地点の割合は 91％（903 地点 /993 地点）で、依然として高い割合を維持しています。

なお、令和 5 年に BOD（または COD）値が環境基準を満足した地点の割合について、地点の種類別に見ると、河川のみでは 96％（857 地点 /890 地点）、湖沼等（海域含む）※3 では 45％（46 地点 /103 地点）でした。

※1　BOD（生物化学的酸素要求量）：　河川の水質の汚濁状況を測る代表的な指標である。水中の汚れ（有機物）が微生物により分解されるときに消費される酸素量のことで、BOD の値が大きければ水が汚れていることを表す。

※2　COD（化学的酸素要求量）：　湖沼や海域の水質の汚濁状況を測る代表的な指標である。水中の有機物を酸化剤で酸化されるときに消費される酸化剤の量を酸素量に換算したもので、COD の値が大きければ水が汚れていることを表す。

※3　河川・湖沼別の環境基準を満足した地点の割合は平成 8 年より整理（平成 26 年以降は海域も含む）

【ダイオキシン類】

令和 5 年度における、ダイオキシン類が水質環境基準を満足した地点の割合は 96%（188 地点 /196 地点）でした。

【人の健康の保護に関する環境基準】

令和 5 年における、直轄管理区間の健康項目全体の環境基準を満足した割合は 99％（前年 99％）となっており、ほとんどの地点で環境基準を満足しました。

感覚的調査

感覚的な水質指標による調査

**国土交通省では、河川を BOD などの環境基準だけでなく多様な視点で評価するために、調査の一部を住民と河川管理者との協働で実施しています。
普段親しんでいる身近な川で、ごみの量や水のにおいなどを実際に体感することで評価しています。**

河川を BOD などの環境基準だけでなく多様な視点で評価するための指標について検討し、「今後の河川水質管理の指標について（案）」を平成 17 年 3 月にとりまとめました[注1)]。このうち、「感覚的な水質指標[注2)]」による調査では、調査の一部を住民と河川管理者との協働により平成 17 年から実施しており、普段親しんでいる身近な川で、ごみの量や水のにおいなどを実際に体感することで評価しています[注3)]。住民との協働による水質調査は、住民の川に対する意識の向上（情報提供を含む）、河川水質の情報収集、住民の主体的な行動を引き出すことなどにより、川の改善を目指すことをねらいとしています。

注 1　平成 21 年 3 月に一部改訂し、平成 21 年度の調査より適用しています。
注 2　「今後の河川水質管理の指標」のうち、「人と河川の豊かなふれあいの確保」に関する調査では、ごみの量や水のにおいなどを実際に体感することで評価する項目が含まれていることから、「感覚的な水質指標」として紹介しています。
注 3　評価項目ごとに A ～ D ランクの 4 段階の評価ランクを決めた上で、まず調査回ごとに最も低い項目別評価ランクを、その地点のその調査時の総合評価ランクとし、1 年間の調査時の総合評価ランクのうち最頻出ランクを、その地点における年間の総合評価ランクとします。最頻出ランクが 2 つ以上ある場合は、低い方のランクを年間の総合評価ランクとします。

「感覚的な水質指標による調査」は、これまで多くの水系で実施され、子供たちをはじめ、多くの方々が参加しています。

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、全国的に調査中止あるいは規模縮小を余儀なくされた時期もありましたが、長年調査を実施する中で、河川ごとに調査内容や方法も多様化しています。

ここでは、2023 年に実施した調査のいくつかをご紹介します。

感覚的調査

「川の日」に開催

男鹿川の水生生物調査

利根川水系 男鹿川（おじかがわ）（栃木県）

川の中に生息する生きもの（水生生物）の種類は、水の中に溶けている酸素の量（溶存酸素）と関係があります。汚れた川では細菌などが溶存酸素を多く消費するので、溶存酸素が少ない川では、きれいな水に生息する水生生物は見られず、汚れたところに生息する水生生物が多く見られるようになります。このことから、水生生物を調べることにより、水質など川の環境の状態を知ることができます。

利根川水系鬼怒川の支川の男鹿川では、2023 年 7 月 7 日「川の日※」に、鬼怒川ダム統合管理事務所主催で、日光市立鬼怒川小学校の 5 年生 11 名に協力してもらい、水生生物による水質の簡易調査を行いました。

小学生たちは川の中に入り、水生生物の採集を行いました。採集した生きものは、きれいな水に生息するものが多く、「水質階級Ⅰ（きれいな水）」と判定できました。

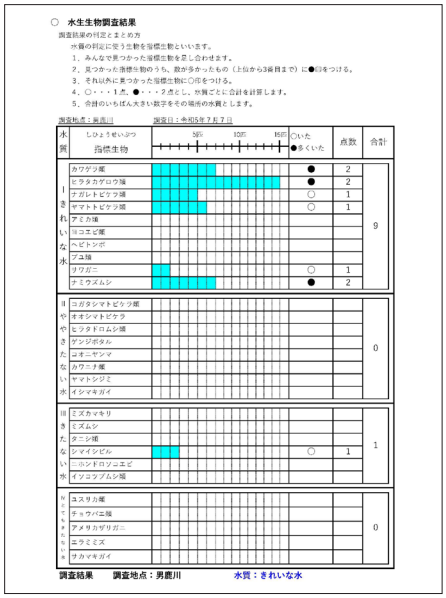
そのほか、河川水の透視度学習も行いました。

※川の日：国土交通省では 7 月 7 日を「川の日」と定め、河川に対する国民の関心を取り戻し、流域の良好な環境づくりなどに関する住民・自治体の活動を支援するための啓発活動を行っています。

川の中に入り、水生生物を採集します

採集した水生生物について確認します

透視度の測定



○ 水生生物調査結果

調査結果の判定とまとめ方

水質の判定に使う生物を指標生物といいます。

1. みんなで見つかった指標生物を足し合わせます。
2. 見つかった指標生物のうち、数が多かったもの（上位から3番目まで）に●印をつける。
3. それ以外に見つかった指標生物に○印をつける。
4. ○・・・1点、●・・・2点とし、水質ごとに合計を計算します。
5. 合計のいちばん大きい数字をその場所の水質とします。

調査地点：男鹿川　　調査日：令和5年7月7日

水質	しひょうせいぶつ 指標生物	5匹	10匹	15匹	○いた ●多くいた	点数	合計
きれいな水	カワゲラ類				●	2	9
	ヒラタカゲロウ類				●	2	
	ナガレトビケラ類				○	1	
	ヤマトトビケラ類				○	1	
	アミカ類						
	ミコエビ類						
	ヘビトンボ						
	ブユ類						
	リワガニ				○	1	
	ナミウズムシ				●	2	
ややきたない水	コガタシマトビケラ類						0
	オオシマトビケラ						
	ヒラタドロムシ類						
	ゲンジボタル						
	コオニヤンマ						
	カワニナ類						
	ヤマトシジミ						
	イシマキガイ						
きたない水	ミズカマキリ						1
	ミズムシ						
	タニシ類						
	シマイシビル				○	1	
	ニホンドロソコエビ						
	イソコツブムシ類						
たくさんたちは	ユスリカ類						0
	チョウバエ類						
	アメリカザリガニ						
	エラミミズ						
	サカマキガイ						

調査結果　調査地点：男鹿川　水質：きれいな水

水生生物結果

写真提供：関東地方整備局 鬼怒川ダム統合管理事務所

感覚的調査

水生生物調査と川での危険回避方法や魚類調査をあわせて学ぶ

湧別川「川の環境学習会」

湧別川水系

湧別川（ゆうべつがわ）

（北海道）

湧別川では網走開発建設部による出前講座の一つとして、地域の小学生を対象に河川の水質調査を行っています。

2023 年は、湧別町立ゆうべつ学園の 4 年生と、上湧別小学校の 3 年生及び 4 年生、あわせて 38 名を対象に、「川の環境学習会」と題して開催しました。

水生生物から水質を判定する「水生生物調査」を行い、事前にスタッフが採捕した生きものを参加者が種類ごとに取り分けて観察しました。きれいな水や、ややきれいな水に生息する生きものが多く、水質が良好であることが分かりました。

このほかに、川で遊ぶ際の危険回避方法を学ぶ「川の安全講習会」、川の魚を観察・採捕する「魚類調査」も実施しました。参加者はライフジャケットを着用して川に入り、石をめくって水生生物を探すことや、タモ網やペットボトルの仕掛けを用いた魚の採捕にも挑戦しました。

ピンセットを用いて生物を種類ごとに取り分けます

湧別川に生息する魚を観察します
たらいの中にいるのは、エゾウグイやフクドジョウです

タモ網を使って水生生物の採集に挑戦です

「投網」の実演も見学します

写真提供：北海道開発局 網走開発建設部

感覚的調査

河川愛護について理解を深める

沿川学校との丹生川の水質調査

最上川水系
丹生川（にゅうがわ）
（山形県）

最上川（もがみがわ）の支川である丹生川では、沿川の学校の協力を得て、水質調査を行っています。この調査は、参加者が身近な河川の水質を知ることで、河川愛護の重要性などについて興味を持ち、理解を深めてもらうことを目的に、新庄河川事務所が主催しています。

2023 年は、7 月 4 日に大石田町立大石田北小学校の 4 年生 12 名、7 月 12 日に大石田小学校の 4 年生 22 名が調査を行いました。

参加者は、水生生物による簡易的な水質調査を行うとともに、「パックテスト」という薬品を使った調査も同時に行い、水生生物による水質の判定結果との検証を行いました。水生生物調査では、きれいな水に生息する生きものがたくさん採れ、「水質階級Ⅰ（きれいな水）」と判定できました。

参加校の一つである大石田小学校は、5 年以上継続的にこの調査に参加・協力しており、この功績を称え、新庄河川事務所は 2023 年 7 月に河川愛護団体として表彰しました。

石の裏に潜んでいる虫をピンセットなどを使って採集します

採集した水生生物の種類を調べます

「パックテスト」を用いて pH を調べます
丹生川の水は中性でした
（酸性やアルカリ性が強いと生き物の多くは生息できません）

調査結果を解説します

写真提供：東北地方整備局 新庄河川事務所

水質事故調査

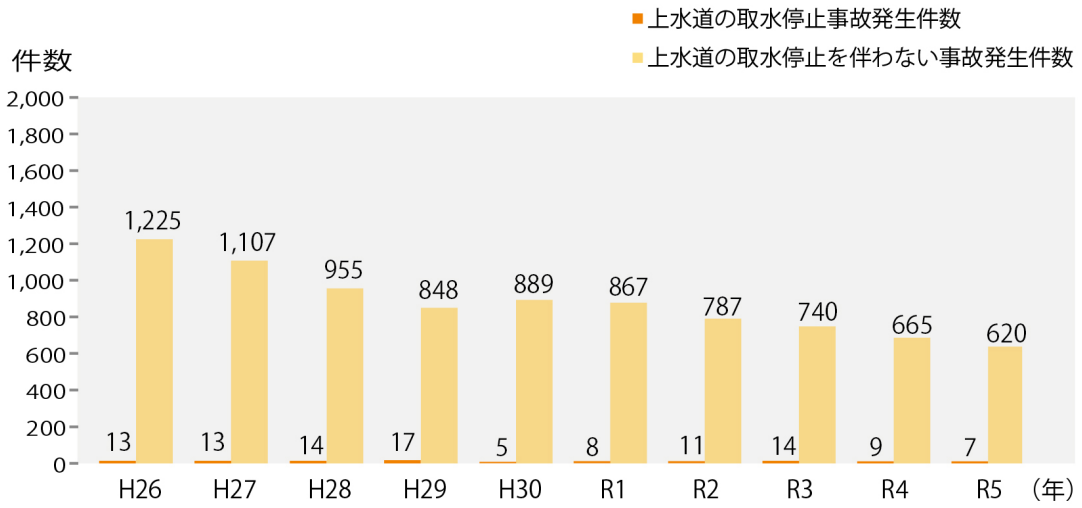
水質事故等の状況

令和５年の水質事故の発生件数は 627 件で、長期的には減少傾向にあります。

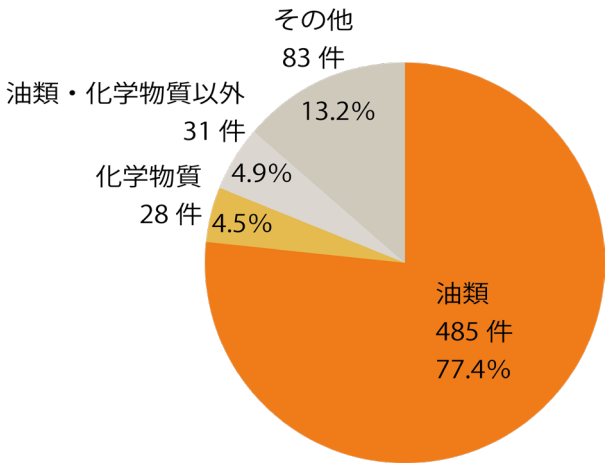
令和５年は令和４年と比べ 47 件減少し、水質事故の発生件数は、減少傾向にあります。

事故の内容を原因物質別にみると、油類の流出が全体の約８割を占めています。

一級水系においては、水質事故発生時には、河川管理者、利水者、その他関係行政機関等により構成される「水質汚濁防止連絡協議会」を通じて、速やかに情報の収集、通報・連絡を行うとともに、関係機関と連携のもとにオイルフェンスを設置するなど、被害の拡大防止に努めています。



水質事故発生件数と上水道の取水停止事故発生件数の推移



合計　627 件（自然現象 16 件を除く）

水質事故の内容（原因物質別）

不法投棄による油流出事故

（写真：関東地方整備局　江戸川河川事務所）

水質事故調査

水質事故を防ぐために

水質事故は油類や化学物質によるものがあり、工場で使用される機械の故障・操作ミスや、交通事故、ごみの不法投棄などによって発生します。

ひとたび油類や化学物質が河川へ流出してしまうと、魚などの水生生物に影響を与えるだけでなく、規模によっては河川からの水道用水等の取水が制限されるなど、広範囲にわたって市民生活に重大な影響を及ぼすおそれがあります。

そのため水質事故発生時には、「水質汚濁防止連絡協議会」を通じて速やかに通報・連絡・情報収集を行うとともに被害の拡大を防止できるよう、日頃から関係機関と共同で訓練等を実施しています。

事例

近畿地方整備局での事例

加古川水系及び揖保川水系では、水質事故が起こった際に現場での迅速な対応を実施するため、また、水質汚濁防止協議会との緊密な連携を深めるため、毎年水質事故対応訓練を開催しています。

2023 年は、加古川水系・揖保川水系水質汚濁防止協議会の構成員、姫路河川国道事務所の河川と道路の出張所の職員、維持管理作業の受注者、56 名が参加しました。

水質事故が起こった際の初動対応についての重要性及びオイルフェンスの設置方法の講義後には、油種の判別訓練や、加古川の支川である草谷川でのオイルマットの設置訓練などを行いました。

万国旗型オイルマットの設置訓練の様子
（写真提供：近畿地方整備局）

中国地方整備局での事例

岡山三川水質汚濁防止連絡協議会は、吉井川水系・旭川水系・高梁川水系における水質事故への迅速な対応や水質保全、水質事故の未然防止を図ることを目的に、日頃から水質事故に対する情報共有と事故発生時の初動対応体制の充実を図っています。

その活動の一環として、2023 年 9 月に水質事故時の初動対応能力の向上を目的とした訓練を実施しました。吉井川水系の金剛川水辺の楽校を会場とし、約 80 名の参加者が、ロープワーク、オイルフェンス展張、油の種類とその判別方法の確認、パックテストを用いた水質検査を行いました。

水質検査実演
（写真提供：中国地方整備局）

写真提供：四国地方整備局

特集

良好な水質を活かした地域づくり

仁淀川（によどがわ）

【仁淀川水系仁淀川（高知県・愛媛県）】

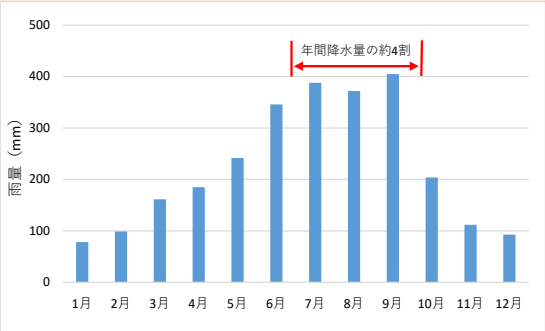
良好な水質の仁淀川

仁淀川（によどがわ）は、石鎚山（いしづちさん）（標高 1,982m）に源を発する、長さ 124km、流域面積 1,560km^2 の一級河川です。仁淀川の上流域は急峻（きゅうしゅん）な山地で、V字谷の渓谷（けいこく）をつくりながら流れ、下流域は河口近くまで山地が迫っており、東西から合流する支川や旧河道沿いに細長く平野が形成され、いの町（ちょう）や土佐（とさ）市などの主要な市街地が位置しています。

仁淀川流域は、台風による被害が発生しやすい「台風常襲（じょうしゅう）地帯」に位置しており、平均降水量は約 2,500mm で全国平均（約 1,600mm）の約 1.6 倍になります。特に、台風期にあたる 7 ～ 9 月の降水量は年間降水量の約 4 割を占め、過去から幾度となく洪水被害が発生しています。一方、仁淀川の河川水や伏流水は、上流部では発電・農業用水等に、下流部では農業・水道用水のほかに製紙会社等の工業用水として利用されています。

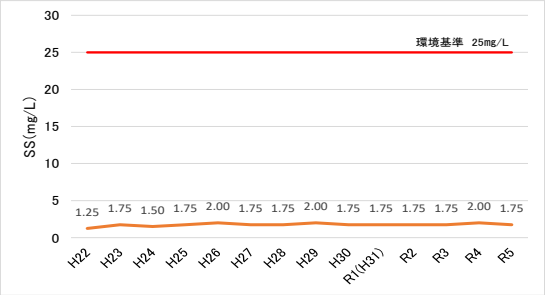
また、仁淀川は、水質が良好な河川として知られており、「水質が良好な河川※1」とされる「BOD75％値：0.5mg / ℓ 以下」を過去 10 年間（2014 ～ 2023 年）で 6 回記録しています。また、浮遊物質 (SS) は環境基準を大きく下回っており、水中の不純物が少ないことも示されています。このような特徴から、仁淀川では下流域でも川底までよく見える状態になっています。

※ 1:「水質が最も良好な河川」の定義は、本資料の 3 ページ目に記載。



仁淀川流域の平均月別降水量※2

※ 2: 値は気象庁の降水量の平年値（1991 ～ 2020 年の 30 年間の観測地平均）。



仁淀川で計測された浮遊物質の推移（2010 ～ 2023 年）※3

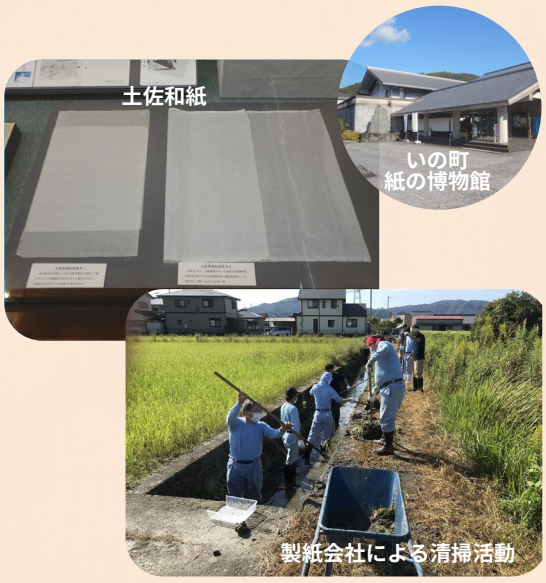
※ 3: 値は各観測所（伊野、八田堰、中島、仁西）の年別の平均値。

水を利用した伝統的な産業

仁淀川では、1000 年を超える和紙製造の歴史があり、作られた和紙は「土佐和紙」と呼ばれています。

山間部では和紙の材料となる植物（コウゾ、ミツマタなど）が栽培され、下流域では仁淀川の良好な水が利用できる地理的な条件から、和紙づくりが盛んに行われ、江戸時代には土佐藩（とさはん）の名産品として全国に知られていました。現在も、下流部に位置するいの町や土佐市では、機械製紙工場や手すき製紙工場が操業しています。

この仁淀川の水を利用している製紙会社では、河川保全に対する取組を行っており、河川事業で進めている流域治水対策の一環として、製紙会社と土佐市が協定を結んで河川や水路の清掃活動を実施しています。これにより、氾濫（はんらん）を減らすとともに、水質の改善や環境維持につながっています。



仁淀川の特徴を活かした地域づくり

仁淀川は、「奇跡の清流 仁淀川」、「仁淀ブルー」と呼ばれる良好な水質を有し、また、仁淀川ならではの多くの観光スポットがあり、それを活かした地域づくりが行われています。

青い水がつくりだす観光資源

仁淀川の水は、観光協議会のウェブサイトによると「リゾート地の海辺を思わせるような透明度、エメラルドグリーンともターコイズブルーとも呼べるような青の美しさ」と表現されています。また、高知県の写真家により「仁淀ブルー」という言葉が生まれ、その名前は、2012年にテレビ番組で紹介されたことをきっかけとして、全国へ知られていきました。

この「仁淀ブルー」を体感できるスポットとして、仁淀川支流にある枝川川の「にこ淵（いの町）」、安居川には全体で約10kmにも及ぶ「安居渓谷（仁淀川町）」などが挙げられます。さらに、増水時に沈む橋（沈下橋）が6本架かっており、最長191mで生活道路として利用される「名越屋沈下橋（いの町・日高村）」があります。また、仁淀川で最も河川景観が良いとされる「浅尾沈下橋（越知町）」は、川と周囲の山や集落も含めた景観が観光資源となっています。

安居渓谷

写真提供:仁淀川町観光協会

名越屋沈下橋

浅尾沈下橋

写真提供:一般社団法人仁淀ブルー観光協議会

河川の利用と地域づくりへの取組

仁淀川には多くの人が四国内外から訪れており、スタンドアップパドルボード（SUP）やラフティング、屋形船（日高村）が楽しめるほか、仁淀川を望む「宮の前公園（越知町）」など多くのキャンプ場があります。2019年の河川水辺の国勢調査（河川空間利用実態調査）によると、年間約26万人（推計値）が仁淀川の水辺や公園などの施設を利用しています。

仁淀川流域6市町村を一体とした観光地域として、全国からの来訪客を招き入れるため、2015年には「一般社団法人 仁淀ブルー観光協議会」が設立されました。取組の一つとして、2021年から体験型イベント「仁淀ブルー体験博」が行われており、さらに、同年に仁淀川がアニメ映画の舞台になったことから、2022年の観光客入込数は約100万人を記録しており、観光地域づくりが進んでいます。

SUPによる利用

河川の利用状況

屋形船

写真提供:一般社団法人仁淀ブルー観光協議会

宮の前公園

写真提供:一般社団法人仁淀ブルー観光協議会

仁淀川の名産が生む味覚と景観

仁淀川流域では、特有の地形や気候などを生かして、様々な名産品がつくられています。

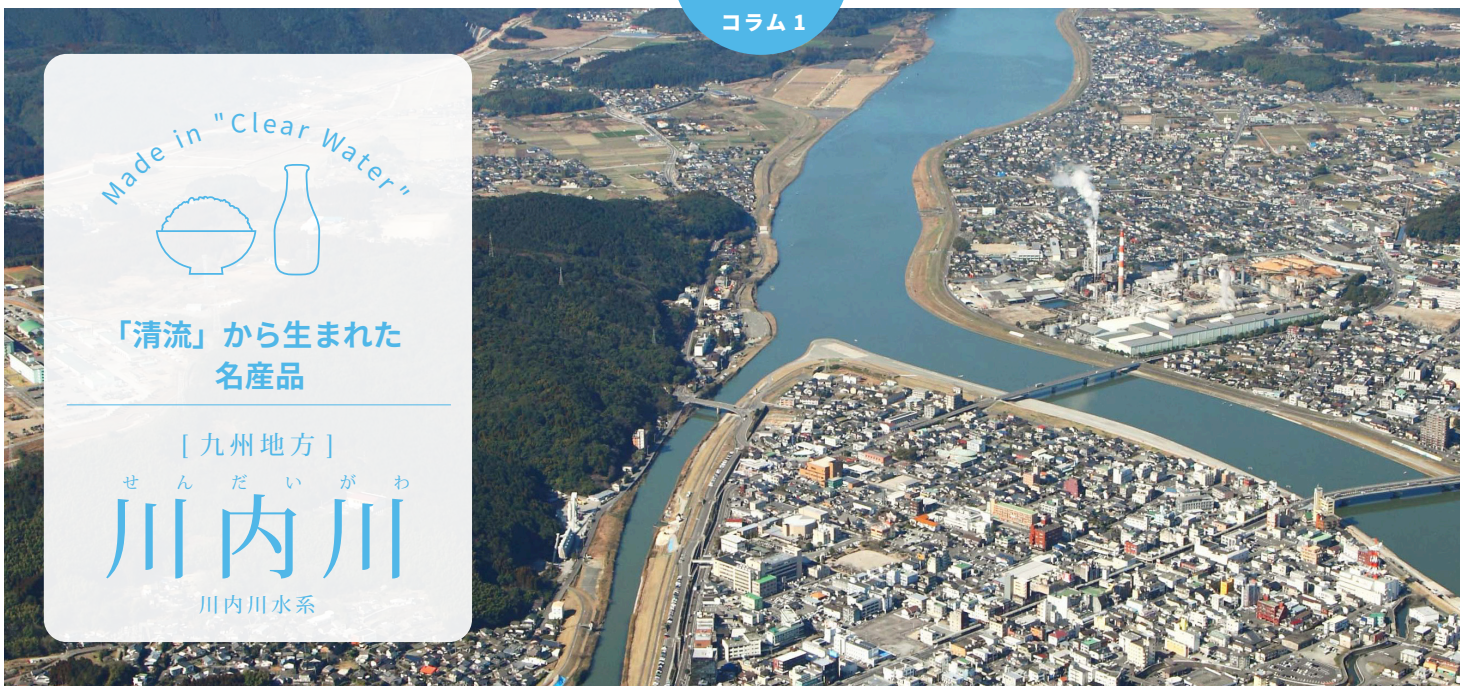
この名産品の一つに「土佐茶」があります。仁淀川流域は降水量が多く、川からの朝霧・夕霧や石灰質を含む水はけのよい傾斜地が、お茶の生育に最適な条件となっています。仁淀川町では、高知県内の約40%近い土佐茶が生産されており、この「土佐茶」は金色で香り高く、味が濃いのが特徴です。

また、仁淀川の湧水や伏流水は、「司牡丹」などの銘柄の日本酒の仕込水に使用されています。日本酒は、土佐市や佐川町などで生産されており、「司牡丹」の酒蔵がある佐川町では、伝統的な商家住宅や酒蔵などが趣のある街並み（酒造の道）をつくりだしています。

仁淀川町の茶畑（土佐茶）

酒造の道

写真提供:仁淀川町観光協会（上）、一般社団法人仁淀ブルー観光協議会（下）



川内川がもたらす幻想的な光景と食

地域の基盤をなす川内川

川内川は、熊本県球磨郡あさぎり町の白髪岳に源を発し、宮崎県えびの市を通り、鹿児島県の川内平野を貫流して東シナ海にそそぐ、延長 137㎞、流域面積 1,600km^2 の川です。九州の中では、延長は 2 番目、流域面積は 5 番目の大きさを誇る河川です。

中上流部では、稲作などの農業や温泉・史跡などの観光産業がさかんであり、下流部では、製紙業、電子部品製造業といった第二次産業が集積し、この地域における社会・経済・文化の基盤をなしています。さらに、霧島錦江湾国立公園などの豊かな自然環境にも恵まれています。

群舞するホタル

川内川の中流部では、ゲンジボタルが生息・繁殖しています。ゲンジボタルは、水生生物による水質判定における水質階級Ⅱ（ややきれいな水）の指標生物です。
5 月頃には無数のホタルが乱舞し、「ホタル舟」で川を下りながら、幻想的な光景を見ることができます。

「ホタル舟」は、鹿児島県さつま町の神子（こうし）地区などで約 20 年前から運航しており、初夏の風物詩として重要な観光資源となっています。

2021 年 7 月の線状降水帯による豪雨以降、ホタルが減少しており、川内川河川事務所では、さつま町と連携し、ホタルの回復に向けた生息環境調査などを行っています。

奥薩摩のホタル舟

焼酎発祥の地

川内川流域に位置する鹿児島県伊佐市は、「焼酎発祥の地」といわれています。

これは、日本最古の「焼酎」と書かれた文字が、伊佐市にある郡山八幡神社（国指定重要文化財）で見つかったことに由縁しています。

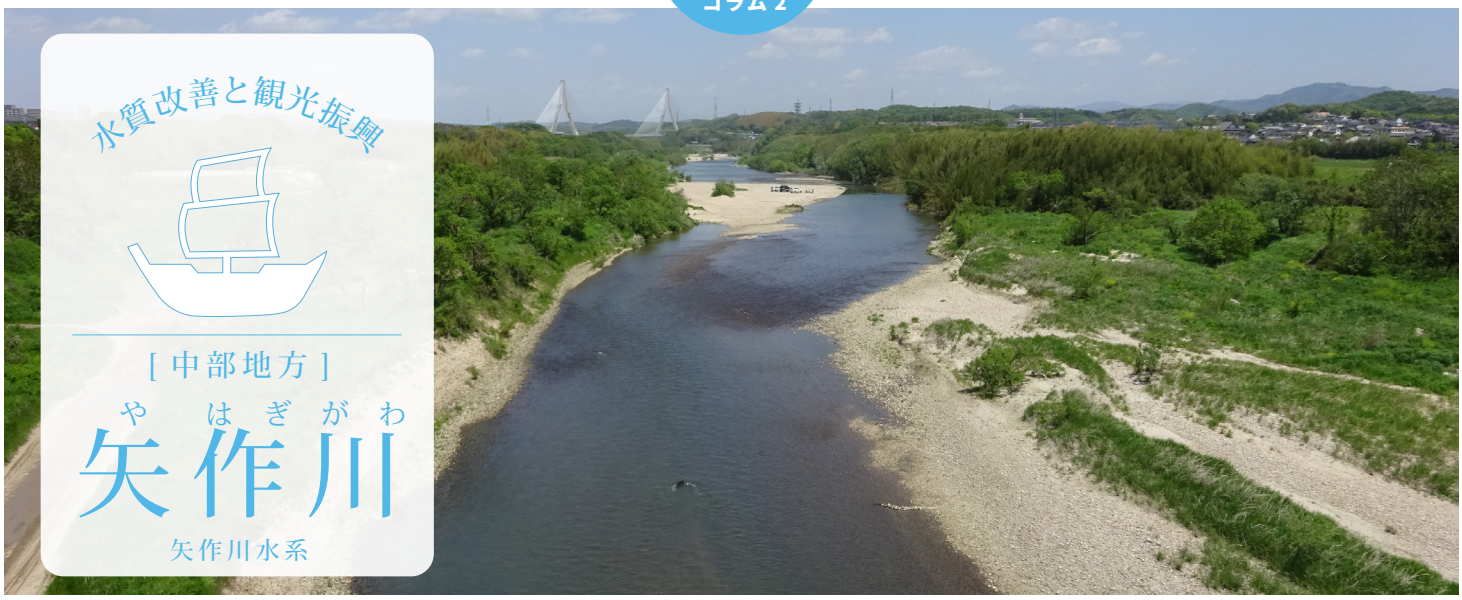
焼酎づくりには、良質な水と米こうじ・もろみの原料である米が欠かせません。伊佐市は、鹿児島県内一の米の生産面積と生産量をもち、市内の一部水田では川内川の水を使い米作りが行われています。

2022 年には「米の食味ランキング（日本穀物検定協会）」において、霧島地区のヒノヒカリが特 A を受賞しています。一方で、2018 年、霧島連山の硫黄山（宮崎県えびの市）が噴火し、河川水の酸性化が確認された影響により、川内川及び長江川（ながえがわ）・赤子川（あかごがわ）から取水する水田では、米づくりを断続的に中止せざるを得なくなり、原因となる物質を沈殿させる施設の設置や水質監視システムの導入等の取組がなされています。

郡山八幡神社と「焼酎」の文字が書かれた柱貫※

（※柱貫：柱と柱の間をつなぐ横木、写真提供：鹿児島県伊佐市）

写真提供：九州地方整備局



水質改善と観光振興

[中部地方]

矢作川（やはぎがわ）

矢作川水系

「美河」ともいわれる矢作川

矢作川は中央アルプス南端に源を発し、愛知・岐阜県境の山間部を貫流し、愛知県の中央部を流下して三河湾に注ぐ川です。

その流れをたたえて「美河」ともいわれ、西三河地方では人々のふるさとの川として親しまれてきました。

矢作川は明治末期まで川船による舟運に広く利用されました。また､江戸時代から農業用水として沿川の農地を潤し、その後、明治用水（1880 年）や枝下（しだれ）用水（1890 年）の完成により、1907 年には 8,000ha を超える豊かな農地がひらかれるなど、西三河地方の発展を支えてきました。

住民が主体となった水質改善への行動

1960 年代、高度経済成長に伴い、矢作川の水質は極端に悪化します。山砂利採取業者による山の切り崩しや、大規模工場からの工場排水、宅地やゴルフ場造成のための山間部の乱開発などにより、濁水が矢作川を流れました。

これにより、矢作川のアユは死滅し、下流沿岸では矢作川から流出したヘドロの堆積により、ノリやアサリの養殖に大打撃を与えました。被害は水産業だけでなく、河川水を利用する農業にも及びました。

そのため、1969 年、漁業や農業の関連団体・自治体が一体となり、「矢作川沿岸水質保全対策協議会」を設立し、汚濁状況の調査、事業所の排水の水質浄化、造成工事の施工の指導、行政への働きかけ等の水質改善に向けた活動を行いました。この協議会の活動は、「矢作川流域開発研究会」、「矢作川環境技術研究会」、「矢作川をきれいにする会」など数多くの協力団体が支援する体制となっています。

矢作川における水質保全の活動全体は「矢作川方式」と呼ばれており、民間主導型の流域管理の方法の一つとなっています。加えて、流域別下水道整備総合計画に基づいた下水道の高度処理等の整備が実施され、矢作川の水質は改善されています。

流域住民の行動によって 1987 年には「矢作川いかだ下り大会」が開催できるまでに矢作川の水質が改善しました。

また、矢作川では、流域の子どもたちによる水質改善の取組も行われています。愛知県豊田市の西広瀬小学校の児童たちは、矢作川を水遊びのできるきれいな川にするために、1976 年 7 月から透視度測定による矢作川の水質汚濁調査を始め、この調査は現在も地域住民と協働して実施されています。この取組は「矢作川の小さな見張り番」として全国から評価され、1992 年度の環境庁長官賞、1998 年度の日本水大賞審査部会特別賞をはじめ、様々な賞を受賞しています。

矢作川いかだ下り大会
（写真出典：中部地方整備局 ウェブサイト）

川と触れ合う場へ

流域の秩序ある開発及び河川水質の改善がみられたことで、矢作川はアユが生息できる環境になり、アユ釣りや、やな場でのつかみ取り体験は観光資源となっています。また、河口ではシジミなどの潮干狩りが楽しめます。特にアサリは、三河湾が一大産地であり、愛知県は漁獲量全国 1 位（2021 年時点）です。矢作川河口の干潟ではアサリの稚貝が発生する環境となっています。

潮干狩り

写真提供：中部地方整備局

水質だより

［北陸地方］

小矢部川（おやべがわ）

小矢部川水系

富山県を支える沖積平野

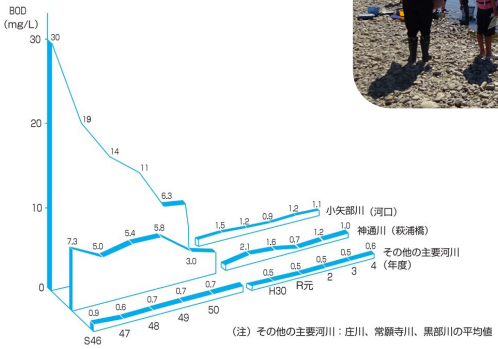
小矢部川は、富山県西部に位置しており、富山・石川県境の大門山を水源として、県境に沿って日本海へと流れる、長さ 68km、流域面積 667km^2 の一級河川です。上流部は急峻な地形である一方、中・下流部は扇状地であり、低地の平坦な場所で川が大きく蛇行している特徴があります。特に、下流部には、広大な水田地帯がある砺波平野が広がっているほか、高岡市を中心とした鋳物、鉄鋼、繊維等の工業地帯として発展しています。

緩やかに蛇行する小矢部川

かつて汚濁が見られた小矢部川

小矢部川では、1970 年代、下流部に立地するパルプ・紙工場や化学工場等の排水、高岡市中心部の工場排水が流入することにより、BOD の高い値が見られました。

このような中、工場排水に対する排水基準の設定等の規制強化が行われるとともに、下水道の処理区域の拡大や合併処理浄化槽の設置等があいまって、水質は改善傾向となり、現在では大幅に改善されています。



河川における BOD の推移（BOD75%値※）

（※ 2 ページ参照、グラフ出典：富山県ウェブサイト）

現在の水質保全に向けた取組

小矢部川の BOD75％値は、少なくとも 1993 年以降から環境基準を満足しており、現在も水質保全に向けた取組が行われています。

小矢部川流域における下水道の主要施設である二上浄化センターは、河川などの水質保全を目的として整備され、1995 年から供用されています。県内 5 市から集められた生活排水や工場排水などの下水は、微生物の働きを利用した標準活性汚泥法により浄化されて小矢部川へ流れます。

二上浄化センター

また、沿川では、川を通じて自然に関心を持ってもらうことを目的として、2002 年に「小矢部川に学ぶ会」が発足されました。この会は、川の水質調査（COD、透明度 等）を実施しているほか、小矢部川の四季の様子を学ぶことができる自然観察会も開催しており、富山河川国道事務所では、これらの活動を支援しています。

流域住民との水生生物調査が行われているほか、毎年 9 月には「みんなできれいにせんまいけ大作戦」と呼ばれる清掃活動が実施されています。

水生生物調査の状況

写真提供：北陸地方整備局

水難事故防止

ライジャケ・オン！

ベルトを締め、体をフィットさせることで脱げにくくなる。

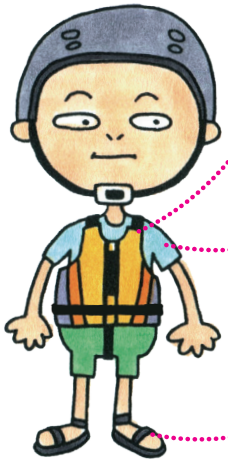
股下ベルトがある（子ども用）

ライジャケ・オン・スタイル

川は楽しい場所ですがリスクもあります。川に入らなくても川岸で足を滑らせて転落することもあります。川での水難事故のほとんどはライフジャケットさえ着ていれば防げた可能性があります。

川で子どもを事故に遭わせないために、そして自分も事故に遭わないように、子どもも大人もライフジャケットを着用することが必要です。

だるまキャラの「山田るま」ちゃんが、ライフジャケットを着て「川田るま」に変身！



水面でも呼吸ができるようにする。

ライフジャケット

体温を奪われないようにする。

乾きやすい服装（水着など）

足を守る。脱げないようにする。

運動靴など

水抜きの穴がある

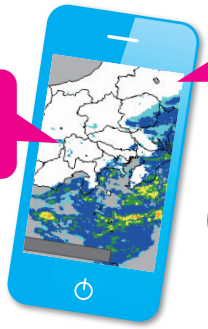
大切な頭を守る。

ヘルメット（あれば）

川で遊ぶ時は、まずチェック！

川の防災情報

提供 国土交通省



左の画面は、東京近郊のレーダー雨量画面です。国土交通省では川の防災情報を携帯電話向けに情報提供しています。

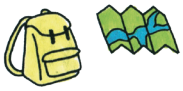
CHECK

川のリアルタイムな情報をチェック！

川に着いたらレーダー雨量や水位を確認しよう！

① 川に行く前にチェック！

- ☑ 必ず天気や川の情報をチェックしよう。急な雨で、川が増水することもあるぞ！
- ☑ バーベキューやキャンプなどでも川に近づく場合はライフジャケットを用意しよう！（大人も子どもも）



② 川に着いたら安全を確認！

- ☑ 川に関する看板があれば確認しよう。
- ☑ 大人も子どももライフジャケットを着用し、子どもから目をはなさないように。（堰付近は川遊びにはキケン・近づかない！）
- ☑ 川のリアルタイムな情報を確認し、上流の状況について把握しよう。

携帯電話で上流の天気が簡単に確認できるよ！

③ 表面は穏やかでも水中は注意！

- ☑ 川には流れがあり、常に変化しているぞ！
- ☑ 一見穏やかに見えても、急に深くなる所や、滑りやすい所があるぞ！
- ☑ 川の事故の約90%は、穏やかな流れや浅瀬で発生しているぞ！

だからライフジャケットが必要なんだぞ！

浅瀬に見えても…中は激流！

穏やかな流れの中は、渦を巻いていることも！

穏やかな流れに見えても…急に深くなる！滑りやすい！

川底は滑り易かったり石につまづいて転びやすい

④ こんな場所は急な増水に注意！

- ☑ 河原は、増水の時は川底になるぞ。特に中州にいると、増水したら取り残されるぞ！

川原に草が生えていない所は、増水時に水が流れていることの「証」

⑤ すぐに避難！

- ☑ 増水の前ぶれや、警報が鳴ったら直ちに避難しよう！すぐに水位が上がってくるぞ！
- ☑ パトロールの人たちや警察・消防、河川管理者の注意には必ず従おう。

避難の遅れは事故につながるぞ！

増水の前ぶれはこんな時！

1. 山鳴り（山全体がうなるような音）がする。
2. 水かさが増え、濁ったり、流木、落ち葉が流れてくる。
3. 雨が降っているのに、水かさが減っている。
4. 腐った土・火薬のようなにおいがする。

※もし誰かが流されたら、浮くもの等を投げよう（子どもは大人を呼ぼう！）。救助する大人が事故に合わないように、大人もライフジャケットを！

MIZBERING
ミズベリング

ミズベリング・プロジェクトとは

かつての賑いを失ってしまった日本の水辺の新しい活用の可能性を、創造していくプロジェクトです。ミズベリングは「水辺＋ RING（輪）」、「水辺＋ R（リノベーション）＋ ING（進行形）」の造語。
水辺に興味を持つ市民や企業、そして行政が三位一体となって、水辺とまちが一体となった美しい景観と、新しい賑いを生み出すムーブメントを、つぎつぎと起こしていきます。

水辺のアクションがもっと増えれば、みんなのまちはもっともっと輝くはずだ。

なにやら、全国の水辺が、ゆるゆると元気になってきた。
カフェやテラスができたり、巨大アヒルが浮かんでいたり。
河川を管理する規制の緩和で、水辺のポテンシャルが一気に加速してきたみたい。

すでに元気な水辺の都市もあるけれど、
まだまだ水辺をとりいれてワクワクできる環境づくり、まちづくりはできるはず。

そこでミズベリング・プロジェクト、開始。
ミズベリング（MIZBERING）とは「水辺＋リング（輪）」の造語であると同時に常に現在進行形 "ING" の気持ちで、水辺とまちが一体になった美しい景観を未来へ創造しつづけるソーシャル・アクションワード。

みんなのアイデアとアクションが集まれば、日本の水辺は、きっと世界がうらやむ楽しくて素敵なまちになるはずだ。

ミズベリング･プロジェクト事務局
mizbering.jp

ミズベリングの先進事例に学べ

1 「水都大阪」

「水都大阪」という、「水の都」としての大阪を復活させるプロジェクトをご存じだろうか？ 2011年から2020年までの長期プロジェクトで、「水都大阪　水と光のまちづくり構想」を掲げ、関西全体を元気にする「大阪の都市力の向上」を目標にしている。構想策定から10年間、水と光のまちづくりの取組みを推進するにあたり、市民･地域･NPO･行政等との連携をさらに強化。オール大阪で水辺の利用促進に励んでいる。

©千鳥土地株式会社

2 「水の都ひろしま」

広島市はまちの中心部を6本の川が流れている「水の都」。その恵まれた水辺を都市づくりに活かすべく、戦後間もない頃から水辺を緑地として整備してきた。今では延長25kmもの緑豊かな河岸緑地となり、美しい水辺が形成されている。水辺をもっと市民に使ってもらうため、市民と国･県･市の協働で「水の都ひろしま」構想（2003年）を策定。「水辺のオープンカフェ」や「水辺のコンサート」を開催、水辺での市民活動の促進、水上交通の活性化の推進などを行い、河川空間における市民や民間事業者の多様な活用が進んでいる。

令和５年全国一級河川の水質現況
Recent Conditions of water quality of Class A rivers in Japan 2023
令和６年７月発行
●編集発行：国土交通省　水管理・国土保全局　河川環境課
〒100-8918　東京都千代田区霞が関 2-1-3　Tel. 03-5253-8111（代表）